

2016年 7月 1日

先端理工学専攻 各位

専攻主任：柳田 達雄

世話人：阿久津典子

先端理工学専攻 大学院ゼミナール

特別講義のご案内

下記のとおり大学院ゼミナールの特別講義を開催いたします。興味をお持ちの先生方や学部学生・他専攻の院生の聴講を歓迎いたします。なお、先端理工学専攻の院生は必修ですので、必ず出席してください。

記

日時： 2016年 07月 12日（火） 17:00～18:30

教室： J-509

講師： 田中 孝徳 先生

題目： **「先端化学を実現する化学工学の考え方」**

要旨：

最先端の化学は工業化されることで、初めて人類の幸福に貢献することができます。その実現のためには、どのような物質を、どのような規模で、どれくらいの時間とエネルギー（コスト）をかけて作るのかを考える必要があります。また、化学反応を利用して、物質に化学変化を与えただけでは製品は得られません。化学反応の前後に混合したり、分離したりする、物理変化を主とする前処理と後処理が必要です。全工程の中では、化学変化を行う部分よりも、それまでの準備や後始末の工程の方にコストがかかる場合が一般的に多いと言われています。このような化学プロセスを総合的な視野で合理的に評価・設計する学問が化学工学です。この講義では化学工学の基本的な考え方について、分離工学を中心に概説します。

以上